平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	10	―	2

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	除雪事業					
評価者	担当課名		建設水道課	担当係名		土木管理係
	管理職	職名	課　長	作成者	職名	係　長
		氏名	佐　竹　邦　夫		氏名	田　原　慎　也
事業の概要	本事業は、冬期間の幹線道路及び生活道路の交通確保を図るため、除排雪を直営及び委託によって実施する事業であります。					

全体計画	/期間限定複数年度	
（平成 20 年度～ 24 年度）		
事業費	国・道支出金	18,000 千円
	地方債	千円
	その他	千円
	一般財源	249,895 千円
	事業費計	267,895 千円

実施方法	■ 直営	民間委託	その他（　　）
第５期総合計画（前期）	■ 登載事業	非登載事業	優先度 A

事業の位置付け			
政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
基本施策	#	交通体系の整備	
単位施策	1	道路環境の向上	
事務事業の種類	■	自治事務	法定受託事務
その他計画・根拠等			

事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	5,565 千円	9,659 千円	9,000 千円	109 千円	7,200 千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	44,774 千円	41,385 千円	40,537 千円	58,634 千円	47,910 千円
	合計	50,339 千円	51,044 千円	49,537 千円	58,743 千円	55,110 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	道路利用者、道路	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	雪による交通障害。	除雪延長		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	冬期間の幹線通路と生活道路の交通及び安全性の確保。	① 除雪延長／除雪延長の実績	目標年度	平成23年度
			目標値	156.0 km
			実績値	156.0 km
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	冬期間の交通及び安全性の確保。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
①直営と民間委託による除雪の実施	除雪は、直営分で借り上げた運転手５名及び添乗員３名と職員運転手２名で19.6kmを、委託分は民間業者により135.4kmを行った。また、今冬期は降雪量が多かったため増額補正を行った。
②直営による排雪の実施	排雪は、不足運転手及び機械を民間業者より借り上げ直営で実施した。また、今冬期は降雪量が多かったため排雪運搬機械等の借上料及び燃料費の増額補正を行った。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	冬期間の幹線道路と生活道路の交通及び安全性の確保は、町が担う必要がある。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	当該事業を実施したことにより、冬期間の幹線道路と生活道路の交通及び安全性が確保された。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	前年度に引き続きコストに見合った効果が得られたため、効率的であると判断する。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	冬期間の幹線道路と生活道路の交通及び安全性の確保が出来たことは、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
冬期間の除排雪は、交通確保上必要不可欠なものであることから、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
冬期間の除排雪は、降雪量により左右されるが、交通確保のためには必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）